

国分寺 高等学校

令和 7 年度

教科 地理歴史

科目 地理総合

教 科： 地理歴史

科 目： 地理総合

単位数： 2 単位

対象学年組： 第 1 学年 1 組～ 8 組

教科担当者：（1 組：小川雅弘）（2 組：小川雅弘）（3 組：小川雅弘）（4 組：植嶋牧子）（5 組：小川雅弘）（6 組：小川雅弘）（7 組：植嶋牧子）（8 組：小川雅弘）

使用教科書：（地理総合世界に学び地域につなぐ（二宮）、詳解現代地図最新版（二宮））

教科 地理歴史 の目標：世界各地の地理事象を概観し、地域の地理的特徴を観察・探究・分析・言語表現化すること。

【知識及び技能】 国際社会の地理的事象に関する知識を自ら獲得し、さまざまな資料を適切に読み取る力を涵養すること。

【思考力、判断力、表現力等】 国際社会の地理的事象に関する知識を活用して、正しい思考判断力と自己の思考・知識の言語化を図ること。

【学びに向かう力、人間性等】 国際社会の地理的事象に関する知識を活用して、国際社会の諸課題に向き合う態度と解決の行程を探究すること。

科目 地理総合 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
国際社会の地理的事象に関する知識を自ら獲得し、さまざまな資料を適切に読み取る力を涵養すること。	国際社会の地理的事象に関する知識を活用して、正しい思考判断力と自己の思考・知識の言語化を図ること。	国際社会の地理的事象に関する知識を活用して、国際社会の諸課題に向き合う態度と解決の行程を探究すること。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	1 地形 【知識及び技能】地形の専門知識や専門用語を正しく理解し、知識が導き出される過程や専門用語の関係性についても理解・把持をしていること。また災害や防災に関する専門知識を理解・把持していること。 【思考力、判断力、表現力等】地形の特徴の背景にある成因を思考し、自己の言語として表現する。また地形の特性を読み取り地理的特徴を判断する。 【学びに向かう力、人間性等】自然地理的分野を積極的に学習しようとする意欲や興味・関心をもち、意欲的に学習すること。 定期考査	地形 テキスト（地理総合・地図帳）・資料集・パワーポイント、スマートスクール端末等を適宜活用しながら地形や災害・防災について生徒が正しく理解するよう指導する。	【知識・技能】地形に関する専門的な知識や専門用語を生徒が正しく理解し、それらの知識が導き出される過程や専門用語の関係性についても生徒が理解・把持をしていること。また災害や防災に関する専門知識を理解・把持していること。 【思考・判断・表現】地形の地理的な特徴の背景にある成因を思考し、自己の言語として表現できること。また災害や防災に関する資料等を読み取り、地域の地理的特徴から災害や防災に関する地理的思考を正しく行うこと。 【主体的に学習に取り組む態度】自然地理的分野や防災探究に積極的に取り組もうとする意欲や興味・関心をもち、意欲的に学習しようとしていること。	○	○	○	11
	定期考査			○	○		1
	2 気候 【知識及び技能】気候の専門知識や専門用語を正しく理解し、知識が導き出される過程や専門用語の関係性についても理解・把持をしていること。 【思考力、判断力、表現力等】気候の特徴の背景にある成因を思考し、自己の言語として表現する。また気候の特性を読み取り地理的特徴を判断する。 【学びに向かう力、人間性等】自然地理的分野を積極的に学習しようとする意欲や興味・関心をもち、意欲的に学習すること。 定期考査	気候 テキスト（地理総合・地図帳）・資料集・パワーポイント、スマートスクール端末等を適宜活用しながら気候について生徒が正しく理解するよう指導する。	【知識・技能】気候に関する専門的な知識や専門用語を生徒が正しく理解し、それらの知識が導き出される過程や専門用語の関係性についても生徒が理解・把持をしていること。 【思考・判断・表現】地域の地理的な特徴の背景にある成因を思考し、自己の言語として表現できること。また地域の特性を読み取り、地域の地理的特徴を判断することができること。 【主体的に学習に取り組む態度】自然地理的分野を積極的に学習しようとする意欲や興味・関心をもち、意欲的に学習しようとしていること。	○	○	○	11
	定期考査			○	○		1
2 学 期	3 世界各地の農業 【知識及び技能】農業の専門知識や専門用語を正しく理解し、知識が導き出される過程や専門用語の関係性についても理解・把持をしていること。 【思考力、判断力、表現力等】農業の特徴の背景にある成因を思考し、自己の言語として表現する。また農業の特性を読み取り地理的特徴を判断する。 【学びに向かう力、人間性等】経済地理的分野を積極的に学習しようとする意欲や興味・関心をもち、意欲的に学習すること。 定期考査	世界各地の農業 テキスト（地理総合・地図帳）・資料集・パワーポイント、スマートスクールの農業について生徒が正しく理解するよう指導する。	【知識・技能】産業・交通・通信・貿易分野に関する専門的な知識や専門用語を生徒が正しく理解し、知識の定義や専門用語の関係性についても生徒が理解・把持をしていること。 【思考・判断・表現】世界規模で結びつく交通・通信や各種産業と貿易が今後どのような発展を遂げるか思考する力を育む。未知の地域についても地域の特性を読み取り、地域の地理的特徴を判断することができること。 【主体的に学習に取り組む態度】産業・交通・通信・貿易分野を積極的に学習しようとする意欲や興味・関心をもち、意欲的に学習しようとしていること。	○	○	○	11
	定期考査			○	○		1
	4 世界各地の工業 【知識及び技能】工業の専門知識や専門用語を正しく理解し、知識が導き出される過程や専門用語の関係性についても理解・把持をしていること。 【思考力、判断力、表現力等】工業の特徴の背景にある成因を思考し、自己の言語として表現する。また工業の特性を読み取り地理的特徴を判断する。 【学びに向かう力、人間性等】経済地理的分野を積極的に学習しようとする意欲や興味・関心をもち、意欲的に学習すること。 定期考査	世界各地の工業 テキスト（地理総合・地図帳）・資料集・パワーポイント、スマートスクール端末等を適宜活用しながら世界各地の工業について生徒が正しく理解するよう指導する。	【知識・技能】産業・交通・通信・貿易分野に関する専門的な知識や専門用語を生徒が正しく理解し、知識の定義や専門用語の関係性についても生徒が理解・把持をしていること。 【思考・判断・表現】世界規模で結びつく交通・通信や各種産業と貿易が今後どのような発展を遂げるか思考する力を育む。未知の地域についても地域の特性を読み取り、地域の地理的特徴を判断することができること。 【主体的に学習に取り組む態度】産業・交通・通信・貿易分野を積極的に学習しようとする意欲や興味・関心をもち、意欲的に学習しようとしていること。	○	○	○	11
	定期考査			○	○		1

国分寺 高等学校 令和 7 年度 教科 地理歴史 科目 歴史総合

教 科： 地理歴史 科 目： 歴史総合 単位数： 2 単位

対象学年組：第 1 学年 1 組～ 8 組

教科担当者：（1・3・5・7組：松岡）（2・4・6．8組：梶原）

使用教科書：（『明解歴史総合』（帝国書院））

教科 地理歴史 の目標：

【知 識 及 び 技 能】資料から情報を適切かつ効果的に読み取り、まとめる力を身につける。

【思考力、判断力、表現力等】近現代の世界・日本に関わる生活や社会の変容について、多面的・多角的に考察し、問いやその答えを表現する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】見通しをもって学習に取り組もうとし、学習を振り返りながら課題を追究するとともに、次の学習へのつながりを見いだそうとする力を養う。

科目 歴史総合 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
近現代の変化において、「近代化」「大衆化」「グローバル化」を中心に、資料から情報を適切かつ効果的に読み取り、理解させる。	近現代の世界・日本に関わる生活や社会の変容について、多面的・多角的に考察し、問いやその答えを表現する力を養う。	見通しをもって学習に取り組もうとし、学習を振り返りながら課題を追究するとともに、次の学習へのつながりを見いだす力を養成する。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
1 学 期	「近代化への問い」 私たちの生活や身近な地域などに見られる諸事象を基に、それらが日本や日本周辺の地域及び世界の歴史とつながっていることを理解する。近代化、国際秩序の変化や大衆化、グローバル化などの歴史の変化と関わらせて、日本や日本周辺の地域及び世界の歴史との関連性について考察し、表現する。	・指導事項 古代から近世までの世界、近代化となる歴史的事象 ・教材 教科書、資料集、プリント ・オンライン授業やスマートスクール端末等を適宜活用しながら生徒が正しく理解するよう指導する。	【知識・技能】 私たちの生活や身近な地域などに見られる諸事象を基に、それらが日本や日本周辺の地域及び世界の歴史とつながっていることを理解している。資料に基づいて歴史が叙述されていることを理解している。 【思考・判断・表現】 近代化、国際秩序の変化や大衆化、グローバル化などの歴史の変化と関わらせて、日本や日本周辺の地域及び世界の歴史との関連性について考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 近現代の歴史に関わる諸事象について、見通しをもって学習に取り組もうとしている。	○	○	○	5
	「欧米諸国の近代化と国民国家の形成」 産業革命の影響、中国の開港と日本の開国の背景とその影響などに着目して、アジア諸国とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、アジア諸国と欧米諸国との関係の変容などを多面的・多角的に考察し、表現することを通して、工業化と世界市場の形成を理解する。国民国家の形成の背景や影響などに着目して、政治変革の特徴、国民国家の特徴や社会の変容などを多面的・多角的に考察し、表現することを通して、立憲体制と国民国家の形成を理解する。	・指導事項 イギリス革命～1848年革命、アメリカとドイツの統一 ・教材 教科書、資料集、プリント ・オンライン授業やスマートスクール端末等を適宜活用しながら生徒が正しく理解するよう指導する。	【知識・技能】 産業革命と交通・通信手段の革新、中国の開港と日本の開国などを基に、工業化と世界市場の形成を理解している。 【思考・判断・表現】 産業革命の影響、中国の開港と日本の開国の背景とその影響などに着目して、主題を設定し、アジア諸国とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、アジア諸国と欧米諸国との関係の変容などを多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 近代化の歴史に関わる諸事象について、見通しをもって学習に取り組もうとし、学習を振り返りながら課題を追究している。	○	○	○	8
	定期考査			○	○		1
	「アジア諸国の動揺と日本の開国」 帝国主義政策の背景、帝国主義政策がアジア・アフリカに与えた影響などに着目して、帝国主義政策の特徴、列強間の関係の変容などを多面的・多角的に考察し、表現することを通して、政治変革の特徴、国民国家の特徴や社会の変容などを多面的・多角的に考察し、表現することを通して、政治変革の特徴、国民国家の特徴や社会の変容などを多面的・多角的に考察し、表現することを通して、立憲体制と国民国家の形成を理解する。	・指導事項 アジアの植民地化～江戸幕府の滅亡 ・教材 教科書、資料集、プリント ・オンライン授業やスマートスクール端末等を適宜活用しながら生徒が正しく理解するよう指導する。	【知識・技能】 18 世紀後半以降の欧米の市民革命や国民統合の動向、日本の明治維新や大日本帝国憲法の制定などを基に、立憲体制と国民国家の形成を理解している。 【思考・判断・表現】 国民国家の形成の背景や影響などに着目して、主題を設定し、アジア諸国とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、政治変革の特徴、国民国家の特徴や社会の変容などを多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 よりよい社会の実現を視野に、自身との関わりを踏まえて学習を振り返るとともに、次の学習へのつながりを見いだそうとしている。	○	○	○	9
	「近代化が進む日本と東アジア」 自由・制限、平等・格差、開発・保全、統合・分化、対立・協調などの観点から設定された主題について、多面的・多角的に考察し、表現することを通して、現代的な諸課題の形成に関わる近代化の歴史を理解する。	・指導事項 明治政府～日露戦争 ・教材 教科書、資料集、プリント ・オンライン授業やスマートスクール端末等を適宜活用しながら生徒が正しく理解するよう指導する。	【知識・技能】 列強の進出と植民地の形成、日清・日露戦争などを基に、列強の帝国主義政策とアジア諸国の変容を理解している。現代的な諸課題の形成に関わる近代化の歴史を理解している。 【思考・判断・表現】 帝国主義政策の背景、帝国主義政策がアジア・アフリカに与えた影響などに着目して、主題を設定し、アジア諸国とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、帝国主義政策の特徴、列強間の関係の変容などを多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 近代化の歴史に関わる諸事象について、見通しをもって学習に取り組もうとし、学習を振り返りながら課題を追究している。	○	○	○	8
	定期考査			○	○		1

国分寺 高等学校 令和 7 年度 教科 地理歴史 科目 世界史探究

教 科： 地理歴史 科 目： 世界史探究 単位数： 3 単位

対象学年組：第 2 学年 1 組～ 4 組

教科担当者：（1・2 組：松岡）（3・4 組：松岡）

使用教科書：（詳説世界史 世界史探究（山川出版社））

教科 地理歴史 の目標：

【知 識 及 び 技 能】 資料から情報を適切かつ効果的に読み取り、まとめる力を身につける。

【思考力、判断力、表現力等】 歴史的事象について、多面的・多角的に考察し、問いやその答えを表現する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 見通しをもって学習に取り組もうとし、学習を振り返りながら課題を追究するとともに、次の学習へのつながりを見いだそうとする力を養う。

科目 世界史探究 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
諸地域の歴史的特質について、その形成にかかわる諸事象を地理的条件などとも関連づけながら理解する。また諸地域世界の変容について、相互の交流という視点をふまえて諸事象の展開を理解する。諸資料から諸地域の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付ける。	諸地域の形成とその交流・変容に関わる事象の意味や意義、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	オリエント文明、インダス文明、中華文明など、各地に展開した古代文明に関わる諸事象を多面的・多角的に考察し、その特質を理解する。	・指導事項 文明の誕生、古代オリエント文明～南北アメリカ文明 ・教材 教科書、資料集、プリント ・オンライン授業やスマート スクール端末等を適宜活用しながら生徒が正しく理解するよう指導する。	【知識・技能】 自然環境との関わりに留意しながら、各地に展開した古代文明に関する諸事象についてその推移・展開、それぞれの歴史的特質について理解している。 【思考・判断・表現】 各地の古代文明を比較したり関連づけたりしながら共通する点や相違点に着目し、古代文明の特質について考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 各地に展開した古代文明と現代の各地域の特質との関わり、古代文明の遺産と現代の私たちの生活との関わりについて、問題意識をもって学習に取り組み、新たな問いを見出そうという姿勢をもって考察している。	○	○	○	12
	秦・漢と遊牧国家、唐と近隣諸国の動向などに関する諸事象を多面的・多角的に考察し、東アジアと中央ユーラシアの歴史的特質を理解する。	・指導事項 中央ユーラシア、秦・漢帝国 中国の同案と変容、東アジア文化圏の形成 ・教材 教科書、資料集、プリント ・オンライン授業やスマート スクール端末等を適宜活用しながら生徒が正しく理解するよう指導する。	【知識・技能】 東アジアと中央ユーラシアの歴史的特質について、相互の関連に着目しながら理解している。 【思考・判断・表現】 東アジアと中央ユーラシアの特質について、その形成に関わる相互作用に着目しながらその特質について考察している。考察した内容を、根拠を示しつつ的確に表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 現代の私たちの生活との関わりについて、問題意識をもって学習に取り組み、新たな問いを見出そうという姿勢をもって考察している。学習した内容を振り返りを通じて、次の学習へのつながりを見出そうとしている。	○	○	○	10
	定期考査			○	○		1
	仏教の成立とヒンドゥー教、南アジアと東南アジアと諸国家などに関する諸事象を多面的・多角的に考察し、南アジアと東南アジアの歴史的特質を理解する。	・指導事項 仏教の成立と南アジアの統一国家、インドの古典文明とヒンドゥー教の定着、東南アジア世界の形成と展開 ・教材 教科書、資料集、プリント ・オンライン授業やスマート スクール端末等を適宜活用しながら生徒が正しく理解するよう指導する。	【知識・技能】 南アジアと東南アジアの歴史的特質について、相互の関連に着目しながら理解している。 【思考・判断・表現】 南アジアと東南アジアの特質について、その形成に関わる相互作用に着目しながらその特質について考察している。考察した内容を、根拠を示しつつ的確に表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 現代の私たちの生活との関わりについて、問題意識をもって学習に取り組み、新たな問いを見出そうという姿勢をもって考察している。学習した内容を振り返りを通じて、次の学習へのつながりを見出そうとしている。	○	○	○	10
	西アジアと地中海周辺の諸国家、キリスト教の成立に関する諸事象を多面的・多角的に考察し、西アジアと地中海周辺の歴史的特質を理解する。	・指導事項 イラン諸国家の興亡とイラン文明、ギリシア人の都市国家、ローマと地中海支配、キリスト教の成立と発展 ・教材 教科書、資料集、プリント ・オンライン授業やスマート スクール端末等を適宜活用しながら生徒が正しく理解するよう指導する。	【知識・技能】 西アジアと地中海周辺の各地域の歴史的特質について、相互の関連に着目しながら理解している。 【思考・判断・表現】 西アジアと地中海周辺の各地域の特質について、その形成に関わる相互作用に着目しながらその特質について考察している。考察した内容を、根拠を示しつつ的確に表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 現代の私たちの生活との関わりについて、問題意識をもって学習に取り組み、新たな問いを見出そうという姿勢をもって考察している。学習した内容を振り返りを通じて、次の学習へのつながりを見出そうとしている。	○	○	○	15
	定期考査			○	○		1

国分寺 高等学校 令和7年度 教科 地理歴史 科目 日本史探究

教科：地理歴史 科目：日本史探究

単位数： 3 単位

対象学年組：第 2 学年 1 組～ 8 組

教科担当者：（ 5 6 組：北村 （ 7 8 組：北村 （ 組： ） （ 組： ）

使用教科書：（ 山川出版『詳説日本史』 ）

教科 地理歴史 の目標：

【知識及び技能】資料から情報を適切かつ効果的に読み取り、まとめる力を身につける。

【思考力、判断力、表現力等】歴史的事象について、多面的・多角的に考察し、問いやその答えを表現する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】見通しをもって学習に取り組もうとし、学習を振り返りながら課題を追究するとともに、次の学習へのつながりを見いだそうとする力を養う。

科目 日本史探究 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連付けながら総合的に捉えて理解するとともに、諸資料から我が国の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付ける。	我が国の歴史の展開に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時勢や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して高貴される日本国史としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	A 単元 【知識及び技能】諸資料から我が国の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、概念などを活用して多面的・多角的に考察し、構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明し、それらを基に議論したりする力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養う。	・指導事項 旧石器文化から縄文時代への変化／弥生文化の成立 国家の形成と古墳文化 ・教材 教科書・史料集・プリント等 ・一人1台端末の活用 等 端末等を適宜活用しながら生徒が正しく理解するよう指導する。	【知識・技能】左記の観点について非常に高度な状況に到達しているか。 左記の観点について授業者が概ね満足できる状況に到達しているか。 左記の観点について努力を要する状況であるか。 【思考・判断・表現】左記の観点について非常に高度な状況に到達しているか。 左記の観点について授業者が概ね満足できる状況に到達しているか。 左記の観点について努力を要する状況であるか。 【主体的に学習に取り組む態度】左記の観点について非常に高度な状況に到達しているか。 左記の観点について授業者が概ね満足できる状況に到達しているか。 左記の観点について努力を要する状況であるか。	○	○	○	7
	B 単元 【知識及び技能】諸資料から我が国の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、概念などを活用して多面的・多角的に考察し、構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明し、それらを基に議論したりする力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養う。	・指導事項 原始・古代の特色を示す適切な歴史資料 ・教材 教科書・史料集・プリント等 ・一人1台端末の活用 等 端末等を適宜活用しながら生徒が正しく理解するよう指導する。	【知識・技能】左記の観点について非常に高度な状況に到達しているか。 左記の観点について授業者が概ね満足できる状況に到達しているか。 左記の観点について努力を要する状況であるか。 【思考・判断・表現】左記の観点について非常に高度な状況に到達しているか。 左記の観点について授業者が概ね満足できる状況に到達しているか。 左記の観点について努力を要する状況であるか。 【主体的に学習に取り組む態度】左記の観点について非常に高度な状況に到達しているか。 左記の観点について授業者が概ね満足できる状況に到達しているか。 左記の観点について努力を要する状況であるか。	○	○	○	9
	定期考査			○	○	○	1
	C 単元 【知識及び技能】諸資料から我が国の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、概念などを活用して多面的・多角的に考察し、構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明し、それらを基に議論したりする力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養う。	・指導事項 律令体制の成立過程と諸文化の形成／ ・教材 教科書・史料集・プリント等 ・一人1台端末の活用 等 端末等を適宜活用しながら生徒が正しく理解するよう指導する。	【知識・技能】左記の観点について非常に高度な状況に到達しているか。 左記の観点について授業者が概ね満足できる状況に到達しているか。 左記の観点について努力を要する状況であるか。 【思考・判断・表現】左記の観点について非常に高度な状況に到達しているか。 左記の観点について授業者が概ね満足できる状況に到達しているか。 左記の観点について努力を要する状況であるか。 【主体的に学習に取り組む態度】左記の観点について非常に高度な状況に到達しているか。 左記の観点について授業者が概ね満足できる状況に到達しているか。 左記の観点について努力を要する状況であるか。	○	○	○	10
	D 単元 【知識及び技能】諸資料から我が国の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、概念などを活用して多面的・多角的に考察し、構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明し、それらを基に議論したりする力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養う。	・指導事項 貴族政治の展開／平安期の文化 ・教材 教科書・史料集・プリント等 ・一人1台端末の活用 等 端末等を適宜活用しながら生徒が正しく理解するよう指導する。	【知識・技能】左記の観点について非常に高度な状況に到達しているか。 左記の観点について授業者が概ね満足できる状況に到達しているか。 左記の観点について努力を要する状況であるか。 【思考・判断・表現】左記の観点について非常に高度な状況に到達しているか。 左記の観点について授業者が概ね満足できる状況に到達しているか。 左記の観点について努力を要する状況であるか。 【主体的に学習に取り組む態度】左記の観点について非常に高度な状況に到達しているか。 左記の観点について授業者が概ね満足できる状況に到達しているか。 左記の観点について努力を要する状況であるか。	○	○	○	10
	定期考査			○	○	○	1

2 学 期	E 単元 【知識及び技能】諸資料から我が国の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、概念などを活用して多面的・多角的に考察し、構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明し、それらを基に議論したりする力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養う。	・指導事項 地方支配の変化や武士の出現／貴族政治の変容と武士の政治進出／土地支配の変容／中世の特色を示す適切な歴史資料／武家政権の成立と展開 ・教材 教科書・史料集・プリント等 ・一人1台端末の活用 等 端末等を適宜活用しながら生徒が正しく理解するよう指導する。	【知識・技能】左記の観点について非常に高度な状況に到達しているか。 左記の観点について授業者が概ね満足できる状況に到達しているか。 左記の観点について努力を要する状況であるか。 【思考・判断・表現】左記の観点について非常に高度な状況に到達しているか。 左記の観点について授業者が概ね満足できる状況に到達しているか。 左記の観点について努力を要する状況であるか。 【主体的に学習に取り組む態度】左記の観点について非常に高度な状況に到達しているか。 左記の観点について授業者が概ね満足できる状況に到達しているか。 左記の観点について努力を要する状況であるか。	○	○	○	19
	定期考査			○	○	○	1
	F 単元 【知識及び技能】諸資料から我が国の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、概念などを活用して多面的・多角的に考察し、構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明し、それらを基に議論したりする力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養う。	・指導事項 産業の発達／宗教や文化の展開／武家政権の変容／日明貿易の展開と琉球王国の成立／村落や年の自立／多様な文化の形成や融合 ・教材 教科書・史料集・プリント等 ・一人1台端末の活用 等 端末等を適宜活用しながら生徒が正しく理解するよう指導する。	【知識・技能】左記の観点について非常に高度な状況に到達しているか。 左記の観点について授業者が概ね満足できる状況に到達しているか。 左記の観点について努力を要する状況であるか。 【思考・判断・表現】左記の観点について非常に高度な状況に到達しているか。 左記の観点について授業者が概ね満足できる状況に到達しているか。 左記の観点について努力を要する状況であるか。 【主体的に学習に取り組む態度】左記の観点について非常に高度な状況に到達しているか。 左記の観点について授業者が概ね満足できる状況に到達しているか。 左記の観点について努力を要する状況であるか。	○	○	○	20
	定期考査			○	○	○	1
3 学 期	G 単元 【知識及び技能】諸資料から我が国の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、概念などを活用して多面的・多角的に考察し、構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明し、それらを基に議論したりする力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養う。	・指導事項 織豊政権の政治・経済政策／貿易や対外関係／近世の特色を示す適切な歴史資料 ・教材 教科書・史料集・プリント等 ・一人1台端末の活用 等 端末等を適宜活用しながら生徒が正しく理解するよう指導する。	【知識・技能】左記の観点について非常に高度な状況に到達しているか。 左記の観点について授業者が概ね満足できる状況に到達しているか。 左記の観点について努力を要する状況であるか。 【思考・判断・表現】左記の観点について非常に高度な状況に到達しているか。 左記の観点について授業者が概ね満足できる状況に到達しているか。 左記の観点について努力を要する状況であるか。 【主体的に学習に取り組む態度】左記の観点について非常に高度な状況に到達しているか。 左記の観点について授業者が概ね満足できる状況に到達しているか。 左記の観点について努力を要する状況であるか。	○	○	○	14
	H 単元 【知識及び技能】諸資料から我が国の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、概念などを活用して多面的・多角的に考察し、構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明し、それらを基に議論したりする力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養う。	・指導事項 法や制度による支配秩序の形成と身分制／貿易の統制と対外関係／技術の向上と開発の進展 ・教材 教科書・史料集・プリント等 ・一人1台端末の活用 等 端末等を適宜活用しながら生徒が正しく理解するよう指導する。	【知識・技能】左記の観点について非常に高度な状況に到達しているか。 左記の観点について授業者が概ね満足できる状況に到達しているか。 左記の観点について努力を要する状況であるか。 【思考・判断・表現】左記の観点について非常に高度な状況に到達しているか。 左記の観点について授業者が概ね満足できる状況に到達しているか。 左記の観点について努力を要する状況であるか。 【主体的に学習に取り組む態度】左記の観点について非常に高度な状況に到達しているか。 左記の観点について授業者が概ね満足できる状況に到達しているか。 左記の観点について努力を要する状況であるか。	○	○	○	12
	定期考査			○	○	○	105
				○	○	○	

年間授業計画 様式

国分寺 高等学校 令和7年度 教科 地理歴史 科目 地理発展探究

教科： 地理歴史 科目： 地理発展探究

単位数： 2 単位

対象学年組：第 3 学年 1 組～ 8 組

教科担当者：（12345678組：斎藤慶将）

使用教科書：（ 新詳地理探究（帝国書院）、新高等地図（東京書籍） ）

教科 地理歴史 の目標： 世界の結合や現況の世界情勢および自然環境、地球的課題学習を通じて地理的な観察力や思考方法を生徒が把持すること。共通テストに対応する応用的な知識や判断力の定着を図る。

【知識及び技能】 地理に関する専門用語や専門的な思考方法を理解し、共通テスト問題の演習を通じて正しい解法を身に付けること。

【思考力、判断力、表現力等】 世界各地に対する地理的な視点と分析力を定着させ、共通テスト問題の演習を通じて正しい解法を身に付けること。

【学びに向かう力、人間性等】 生徒各自が目指す進路の実現を図ることができる学力を養う

科目 地理発展探究 の目標：

【知識・技能】	【思考・判断・表現】	【主体的に学習に取り組む態度】
世界各地に対する地理的な視点と分析力を定着させ、実際に出題されたる共通テストの過去問題の演習を通じて、確実に正確な解法を身に付けさせる。	獲得した知識を活用して思考し、共通テストの過去の出題問題を正しく解くことができる学力を養う。	共通テストの過去の出題問題を正確に解くことが可能となることにより、生徒各自が目指す進路の実現を図ることができる学力を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	地形・気候 地理的な視点・思考力を共通テストの過去出題問題の演習を通じて養成し、地理の入試問題に対する正答を獲得するまでの正しい解法を身に付けること。	共通テスト対策に特化した授業を行う。地形・気候に関する共通テストの過去問題の演習授業を行う。生徒自らの問題演習と問題解説の講義形式の授業を中心とする。可能であれば問題演習やオンライン授業を行う。	地形・気候に関する共通テストの過去問題について地理的な知識・理解、思考力・判断力・表現力を定期テスト等を通じて評価する。	○	○	○	4
	農業・工業 地理的な視点・思考力を共通テストの過去出題問題の演習を通じて養成し、地理の入試問題に対する正答を獲得するまでの正しい解法を身に付けること。	共通テスト対策に特化した授業を行う。農業・工業に関する共通テストの過去問題の演習授業を行う。生徒自らの問題演習と問題解説の講義形式の授業を中心とする。可能であれば問題演習やオンライン授業を行う。	農業・工業に関する共通テストの過去問題について地理的な知識・理解、思考力・判断力・表現力を定期テスト等を通じて評価する。	○	○	○	7
	定期考査			○	○		1
	エネルギー・鉱物資源 地理的な視点・思考力を共通テストの過去出題問題の演習を通じて養成し、地理の入試問題に対する正答を獲得するまでの正しい解法を身に付けること。	共通テスト対策に特化した授業を行う。エネルギー・鉱物資源に関する共通テストの過去問題の演習授業を行う。生徒自らの問題演習と問題解説の講義形式の授業を中心とする。可能であれば問題演習やオンライン授業を行う。	エネルギー・鉱物資源に関する共通テストの過去問題について地理的な知識・理解、思考力・判断力・表現力を定期テスト等を通じて評価する。	○	○	○	7
	消費活動・貿易 地理的な視点・思考力を共通テストの過去出題問題の演習を通じて養成し、地理の入試問題に対する正答を獲得するまでの正しい解法を身に付けること。	共通テスト対策に特化した授業を行う。消費活動・貿易に関する共通テストの過去問題の演習授業を行う。生徒自らの問題演習と問題解説の講義形式の授業を中心とする。可能であれば問題演習やオンライン授業を行う。	消費活動・貿易に関する共通テストの過去問題について地理的な知識・理解、思考力・判断力・表現力を定期テスト等を通じて評価する。	○	○	○	6
	定期考査			○	○		1
2 学 期	消費活動・貿易 地理的な視点・思考力を共通テストの過去出題問題の演習を通じて養成し、地理の入試問題に対する正答を獲得するまでの正しい解法を身に付けること。	共通テスト対策に特化した授業を行う。地形・気候に関する共通テストの過去問題の演習授業を行う。生徒自らの問題演習と問題解説の講義形式の授業を中心とする。可能であれば問題演習やオンライン授業を行う。	地形・気候に関する共通テストの過去問題について知識・理解、思考力・判断力・表現力を定期テスト等を通じて評価する。	○	○	○	11
	定期考査			○	○		1
	交通・通信・都市と集落 地理的な視点・思考力を共通テストの過去出題問題の演習を通じて養成し、地理の入試問題に対する正答を獲得するまでの正しい解法を身に付けること。	共通テスト対策に特化した授業を行う。交通・通信・都市と集落に関する共通テストの過去問題の演習授業を行う。生徒自らの問題演習と問題解説の講義形式の授業を中心とする。可能であれば問題演習やオンライン授業を行う。	交通・通信・都市と集落に関する共通テストの過去問題について知識・理解、思考力・判断力・表現力を定期テスト等を通じて評価する。	○	○	○	14
	定期考査			○	○		1
3 学 期	都市と集落・環境問題 地理的な視点・思考力を共通テストの過去出題問題の演習を通じて養成し、地理の入試問題に対する正答を獲得するまでの正しい解法を身に付けること。	共通テスト対策に特化した授業を行う。都市と集落・環境問題に関する共通テストの過去問題の演習授業を行う。生徒自らの問題演習と問題解説の講義形式の授業を中心とする。可能であれば問題演習やオンライン授業を行う。	都市と集落・環境問題に関する共通テストの過去問題について知識・理解、思考力・判断力・表現力を定期テスト等を通じて評価する。	○	○	○	12
	世界各地域の地誌 地理的な視点・思考力を共通テストの過去出題問題の演習を通じて養成し、地理の入試問題に対する正答を獲得するまでの正しい解法を身に付けること。	共通テスト対策に特化した授業を行う。世界各地域の地誌に関する共通テストの過去問題の演習授業を行う。生徒自らの問題演習と問題解説の講義形式の授業を中心とする。可能であれば問題演習やオンライン授業を行う。	世界各地域の地誌に関する共通テストの過去問題について知識・理解、思考力・判断力・表現力を定期テスト等を通じて評価する。	○	○	○	5
							合計 70

国分寺 高等学校 令和 7 年度 教科 地理歴史 科目 世界史発展探究

教 科： 地理歴史 科 目： 世界史発展探究 単位数： 4 単位

対象学年組： 第 3 学年 5 組～ 8 組 （2 講座）

教科担当者： （5 ～ 8 組（2 講座）：増元良英）

使用教科書：詳説世界史 世界史探究（山川出版社）

教科 地理歴史 の目標：

【知識及び技能】 様々な歴史事象について資料から情報を適切かつ効果的に読み取り、まとめる力を身につけ、近世以降の世界史の展開を構造的に理解する。

【思考力、判断力、表現力等】 歴史的事象の意義や今日との関わりについて、多面的・多角的に考察し、問いやその答えを表現する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 見通しをもって学習に取り組もうとし、学習を振り返りながら課題を追究するとともに、次の学習へのつながりを見いだそうとする力を養う。

科目 世界史発展探究 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
近世以降の世界史の展開について、諸地域の特質やその変容、諸地域間の交流、近代民主主義・資本主義社会の形成過程などに着目しながら構造的に理解する。文献・図版・地図・統計など、さまざまな資料を比較したり関連づけたりして読み解き、考えをまとめたりする技能を身に着ける。	主権国家体制の形成過程や特質、自由主義・ナショナリズムの展開について、諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互の関連などに着目し、諸資料を比較したり関連づけたりして読み解き、国際紛争の解決や現代の科学技術・文化の特質などについて、自ら主体的に主題を設定して多角的・多面的に考察し、表現す	近代国民国家の特質、民主主義体制・資本主義社会の特質と課題などについて、問題意識をもって学習に取り組み、新たな問いを見出し、考察する。学習した内容の振り返りを通じて次の学習へのつながりを見出す。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	西アジアや南アジアの諸帝国、清と日本・朝鮮などの動向に関わる諸事象について、その展開を関連づけながら理解し、それぞれの特質や歴史的意義について多面的・多角的に考察し、表現する。	・オスマン帝国とサファヴィー朝 ・ムガル帝国の興隆 ・清代の中国と隣接地域	【知識・技能】 様々な歴史事象について資料から情報を適切かつ効果的に読み取り、まとめる力を身につけ、近世アジア世界の展開を構造的に理解している。 【思考・判断・表現】 歴史的事象の意義や今日との関わりについて、多面的・多角的に考察し、問いやその答えを表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 見通しをもって学習に取り組もうとし、学習を振り返りながら課題を追究するとともに、次の学習へのつながりを見いだそうとしている。	○	○	○	12
	主権国家体制の形成過程とその特質、近世ヨーロッパ諸国の展開、科学革命と啓蒙思想の歴史的意義などについて、その相互の関連などに着目しながら構造的に理解する。諸資料を比較したり関連づけたりしながら読み解き、問を見出そうとする姿勢をもって考察する。	・ルネサンス ・宗教改革 ・主権国家体制の成立 ・オランダ・イギリス・フランスの台頭 ・北欧・東欧の動向 ・科学革命と啓蒙思想	【知識・技能】 様々な歴史事象について資料から情報を適切かつ効果的に読み取り、まとめる力を身につけ、近世ヨーロッパ世界の展開を構造的に理解している。 【思考・判断・表現】 歴史的事象の意義や今日との関わりについて、多面的・多角的に考察し、問いやその答えを表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 見通しをもって学習に取り組もうとし、学習を振り返りながら課題を追究するとともに、次の学習へのつながりを見いだそうとしている。	○	○	○	12
	定期考査			○	○		1
	アメリカ独立革命やフランス革命の展開とその歴史的意義、近代資本主義社会の特質などについて、その相互の関連などに着目しながら構造的に理解する。諸資料を比較したり関連づけたりしながら読み解き、問を見出そうとする姿勢をもって考察する。	・産業革命 ・アメリカ合衆国の独立と発展 ・フランス革命とナポレオンの支配 ・中南米諸国の独立	【知識・技能】 様々な歴史事象について資料から情報を適切かつ効果的に読み取り、まとめる力を身につけ、産業革命や市民革命の展開を構造的に理解している。 【思考・判断・表現】 歴史的事象の意義や今日との関わりについて、多面的・多角的に考察し、問いやその答えを表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 見通しをもって学習に取り組もうとし、学習を振り返りながら課題を追究するとともに、次の学習へのつながりを見いだそうとしている。	○	○	○	12
	自由主義とナショナリズムの展開、近代国民国家の形成過程とその特質、市民文化成立の背景とその特質などについて、その相互の関連などに着目しながら構造的に理解する。諸資料を比較したり関連づけたりしながら読み解き、問を見出そうとする姿勢をもって考察する。	・ウィーン体制とヨーロッパの政治・社会の変動 ・列強体制の動揺とヨーロッパの再編成 ・アメリカ合衆国の発展 ・19世紀欧米文化の展開と市民文化の繁栄	【知識・技能】 様々な歴史事象について資料から情報を適切かつ効果的に読み取り、まとめる力を身につけ、自由主義とナショナリズムの展開を構造的に理解している。 【思考・判断・表現】 歴史的事象の意義や今日との関わりについて、多面的・多角的に考察し、問いやその答えを表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 見通しをもって学習に取り組もうとし、学習を振り返りながら課題を追究するとともに、次の学習へのつながりを見いだそうとしている。	○	○	○	16
	定期考査			○	○		1

2 学 期	ヨーロッパの進出とそれにもともなうアジア諸地域の変容、東アジア国際秩序の変容などについて、その相互の関連などに着目しながら構造的に理解する。諸資料を比較したり関連づけたりしながら読み解き、問を見出そうとする姿勢をもって考察する。	・西アジア地域の変容 ・南アジア・東南アジアの植民地化 ・東アジアの激動	【知識・技能】 様々な歴史事象について資料から情報を適切かつ効果的に読み取り、まとめる力を身につけ、アジア諸地域の変容を構造的に理解している。 【思考・判断・表現】 歴史的事象の意義や今日との関わりについて、多面的・多角的に考察し、問いやその答えを表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 見通しをもって学習に取り組もうとし、学習を振り返りながら課題を追究するとともに、次の学習へのつながりを見いだそうとしている。	○	○	○	12
	帝国主義の背景とその展開、ヨーロッパ国際秩序の変容、アジア諸地域におけるナショナリズムの展開などについて、その相互の関連などに着目しながら構造的に理解する。諸資料を比較したり関連づけたりしながら読み解き、問を見出そうとする姿勢をもって考察する。	・第2次産業革命と帝国主義 ・列強の世界分割と列強体制の二分化 ・アジア諸国の変革と民族運動	【知識・技能】 様々な歴史事象について資料から情報を適切かつ効果的に読み取り、まとめる力を身につけ、帝国主義とアジア諸地域のナショナリズムの展開を構造的に理解している。 【思考・判断・表現】 歴史的事象の意義や今日との関わりについて、多面的・多角的に考察し、問いやその答えを表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 見通しをもって学習に取り組もうとし、学習を振り返りながら課題を追究するとともに、次の学習へのつながりを見いだそうとしている。	○	○	○	12
	定期考査			○	○		1
	冷戦の展開、アジア・アフリカ諸国の独立と国際社会の変容、多極化とアメリカの覇権の衰退などについて、その相互の関連などに着目しながら構造的に理解する。諸資料を比較したり関連づけたりしながら読み解き、問を見出そうとする姿勢をもって考察する。	冷戦の展開 第三世界の台頭とキューバ危機 冷戦体制の動揺	【知識・技能】 様々な歴史事象について資料から情報を適切かつ効果的に読み取り、まとめる力を身につけ、冷戦体制とその動揺、第三世界の台頭を構造的に理解している。 【思考・判断・表現】 歴史的事象の意義や今日との関わりについて、多面的・多角的に考察し、問いやその答えを表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 見通しをもって学習に取り組もうとし、学習を振り返りながら課題を追究するとともに、次の学習へのつながりを見いだそうとしている。	○	○	○	12
	情報化の進展と知識基盤社会の特質、冷戦の終結とその後の地球の課題などについて、その相互の関連などに着目しながら構造的に理解する。諸資料を比較したり関連づけたりしながら読み解き、問を見出そうとする姿勢をもって考察する。	産業構造の変容 冷戦の終結 今日の世界 現代文明の諸相	【知識・技能】 様々な歴史事象について資料から情報を適切かつ効果的に読み取り、まとめる力を身につけ、現代の国際社会の様相と課題について構造的に理解している。 【思考・判断・表現】 歴史的事象の意義や今日との関わりについて、多面的・多角的に考察し、問いやその答えを表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 見通しをもって学習に取り組もうとし、学習を振り返りながら課題を追究するとともに、次の学習へのつながりを見いだそうとしている。	○	○	○	16
	定期考査			○	○		1
3 学 期	総合演習（個別指導）。生徒個々の志望大学・学部に応じて、論述の添削をはじめとする個別指導を行い、大学入試問題に対応するための応用力を身につける。	世界史探究の全範囲	【知識・技能】 歴史の通史的・俯瞰的な捉え方が身に着き、主題に応じて適切に論述することができる。 【思考・判断・表現】 歴史的事象の意義や今日との関わりについて、多面的・多角的に考察し、問いやその答えを表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 自らの進路希望の実現のために、主体的に学習に取り組んでいる。	○	○	○	32
							合計
							140

国分寺 高等学校 令和 7 年度 教科 地理歴史 科目 世界史演習

教 科： 地理歴史 科 目： 世界史演習 単位数： 2 単位

対象学年組： 第 3 学年 5 組～ 8 組 （2 講座）

教科担当者： 5 ～ 8 組（2 講座）： 増元良英 （ 組： ）

使用教科書： 詳説世界史 世界史探究（山川出版社） ）

教科 地理歴史 の目標：

- 【 知 識 及 び 技 能 】 様々な歴史事象について資料から情報を適切かつ効果的に読み取り、まとめる力を身につけ、近世以降の世界史の展開を構造的に理解する。
- 【思考力、判断力、表現力等】 歴史的事象の意義や今日との関わりについて、多面的・多角的に考察し、問いやその答えを表現する力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】 見通しをもって学習に取り組もうとし、学習を振り返りながら課題を追究するとともに、次の学習へのつながりを見いだそうとする力を養う。

科目 世界史演習 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
第一次世界大戦以降の現代史の展開について、国際規範の変遷や諸地域の変容などに着目しながら構造的に理解する。文献・図版・地図・統計など、さまざまな資料を比較したり関連づけて読み解き、考えをまとめたりする技能を身に着ける。	国際秩序の変遷やグローバル化の進展について、諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互の関連などに着目し、諸資料を比較したり関連づけて読み解き、国際紛争の解決や現代の科学技術・文化の特質などについて、自ら主体的に主題を設定して多角的・多面的に考察し、表現する。	二度の世界大戦と国際秩序の変容、冷戦の終結とその後の世界の諸課題などについて、問題意識をもって学習に取り組み、新たな問いを見出し、考察する。学習した内容の振り返りを通じて次の学習へのつながりを見出す。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	第一次世界大戦の特質、ロシア革命の歴史的意義、第一次世界大戦後の国際秩序などについて、その相互の関連などに着目しながら構造的に理解する。諸資料を比較したり関連づけて読み解き、問を見出そうとする姿勢をもって考察する。	・ 第一次世界大戦とロシア革命 ・ ヴェルサイユ体制下の欧米諸国 ・ アジア・アフリカ地域の民族運動	【知識・技能】 様々な歴史事象について資料から情報を適切かつ効果的に読み取り、まとめる力を身につけ、第一次世界大戦とその後の国際秩序について構造的に理解している。 【思考・判断・表現】 歴史的事象の意義や今日との関わりについて、多面的・多角的に考察し、問いやその答えを表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 見通しをもって学習に取り組もうとし、学習を振り返りながら課題を追究するとともに、次の学習へのつながりを見いだそうとしている。	○	○	○	12
	定期考査			○	○		1
	第二次世界大戦の特質と、その前後の国際秩序の変容について、その相互の関連などに着目しながら構造的に理解する。諸資料を比較したり関連づけて読み解き、問を見出そうとする姿勢をもって考察する。	・ 世界恐慌とヴェルサイユ体制の破壊	【知識・技能】 様々な歴史事象について資料から情報を適切かつ効果的に読み取り、まとめる力を身につけ、第二次世界大戦前後の世界史の展開を構造的に理解している。 【思考・判断・表現】 歴史的事象の意義や今日との関わりについて、多面的・多角的に考察し、問いやその答えを表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 見通しをもって学習に取り組もうとし、学習を振り返りながら課題を追究するとともに、次の学習へのつながりを見いだそうとしている。	○	○	○	14
	定期考査			○	○		1
2 学 期	第二次世界大戦の特質と、その前後の国際秩序の変容について、その相互の関連などに着目しながら構造的に理解する。諸資料を比較したり関連づけて読み解き、問を見出そうとする姿勢をもって考察する。	・ 第二次世界大戦 ・ 新しい国際秩序の形成	【知識・技能】 様々な歴史事象について資料から情報を適切かつ効果的に読み取り、まとめる力を身につけ、第二次世界大戦前後の世界史の展開を構造的に理解している。 【思考・判断・表現】 歴史的事象の意義や今日との関わりについて、多面的・多角的に考察し、問いやその答えを表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 見通しをもって学習に取り組もうとし、学習を振り返りながら課題を追究するとともに、次の学習へのつながりを見いだそうとしている。	○	○	○	6
	総合演習。大学入試問題に対応するための基本的知識を定着させるとともに、諸地域間の関係や、それぞれの地域ごとの通史など、俯瞰的なとらえ方を身に着け、論述力を向上させる。	世界史探究の全範囲	【知識・技能】 基本的知識が定着し、諸事項の関連が整理されて構造的に理解し、通史的・俯瞰的な捉え方ができている。 【思考・判断・表現】 歴史的事象の意義や今日との関わりについて、多面的・多角的に考察し、問いやその答えを表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 自らの進路希望の実現のために、主体的に学習に取り組んでいる。	○	○	○	6
	定期考査			○	○		1
	総合演習。大学入試問題に対応するための基本的知識を定着させるとともに、諸地域間の関係や、それぞれの地域ごとの通史など、俯瞰的なとらえ方を身に着け、論述力を向上させる。	世界史探究の全範囲	【知識・技能】 基本的知識が定着し、諸事項の関連が整理されて構造的に理解し、通史的・俯瞰的な捉え方ができている。 【思考・判断・表現】 歴史的事象の意義や今日との関わりについて、多面的・多角的に考察し、問いやその答えを表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 自らの進路希望の実現のために、主体的に学習に取り組んでいる。	○	○	○	14
	定期考査			○	○		1
3 学 期	総合演習（個別指導）。生徒個々の志望大学・学部に応じて、論述の添削をはじめとする個別指導を行い、大学入試問題に対応するための応用力を身に着ける。	世界史探究の全範囲	【知識・技能】 歴史の通史的・俯瞰的な捉え方が身に着き、主題に応じて適切に論述することができる。 【思考・判断・表現】 歴史的事象の意義や今日との関わりについて、多面的・多角的に考察し、問いやその答えを表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 自らの進路希望の実現のために、主体的に学習に取り組んでいる。	○	○	○	14
							合計
							70

国分寺 高等学校 令和 7 年度 教科 地理歴史 科目 日本史発展探究

教 科： 地理歴史 科 目： 日本史発展探究 単位数： 4 単位

対象学年組：第 3 学年 4 組～ 8 組

教科担当者：（1～4組（2講座）：北村 拓）

使用教科書：（ 詳説日本史 日本史探究（山川出版社） ）

教科 地理歴史 社会的事象の歴史的な見方・考え方を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の優位な形成者に執拗な公民としての資質・能力を育成する。

【知 識 及 び 技 能】 資料から情報を適切かつ効果的に読み取り、まとめる力を身につける。

【思考力、判断力、表現力等】 歴史的事象について、多面的・多角的に考察し、問いやその答えを表現する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 見通しをもって学習に取り組もうとし、学習を振り返りながら課題を追究するとともに、次の学習へのつながりを見いだそうとする力を養う。

科目 日本史発展探究 目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
資料から情報を適切かつ効果的に読み取り、まとめる力を身につける。	歴史的事象について、多面的・多角的に考察し、問いやその答えを表現する力を養う。	見通しをもって学習に取り組もうとし、学習を振り返りながら課題を追究するとともに、次の学習へのつながりを見いだそうとする力を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	2年次に学習した原始・古代から幕藩体制確立期までの復習と江戸時代の社会経済について探求させる。	・指導事項：2年次の復習と江戸時代の社会経済。 ・教材：教科書、ワークシート、図説、史料集、問題集 ・一人1台端末の活用 等	左記の観点について非常に高度な状況に到達しているか。 左記の観点について授業者が概ね満足できる状況に到達しているか。 左記の観点について努力を要する状況であるか。	○	○	○	14
	幕藩体制の完成期から社会経済体制の確立期に花開いた元禄文化の特色や、封建的支配の矛盾が現れはじめ、それに対応する幕政改革について探究する。	・指導事項：元禄文化・幕政の改革 ・教材：教科書、ワークシート、図説、史料集、問題集 ・一人1台端末の活用 等	左記の観点について非常に高度な状況に到達しているか。 左記の観点について授業者が概ね満足できる状況に到達しているか。 左記の観点について努力を要する状況であるか。	○	○	○	18
	定期考査			○	○		1
	町人が主体となる宝暦・天明期の文化や化政文化の特徴を探究するとともに、回復不能に陥った武家政権の構造的財政難、農民の階層分化などを背景に、幕政の衰退過程を探究する。	・指導事項：宝暦・天明期の文化、幕府の衰退と近代化への道、化政文化 ・教材：教科書、ワークシート、図説、史料集、問題集 ・一人1台端末の活用 等	左記の観点について非常に高度な状況に到達しているか。 左記の観点について授業者が概ね満足できる状況に到達しているか。 左記の観点について努力を要する状況であるか。	○	○	○	24
	開国と幕末の動乱について学び、新政府のあり方・性格を探究する。	・指導事項：開国と幕末の動乱、幕府の滅亡と新政府の発足。 ・教材：教科書、ワークシート、図説、史料集、問題集 ・一人1台端末の活用 等	左記の観点について非常に高度な状況に到達しているか。 左記の観点について授業者が概ね満足できる状況に到達しているか。 左記の観点について努力を要する状況であるか。	○	○	○	24
	定期考査			○	○		1
2 学 期	富国強兵を目的とした諸政策とアジア初の立憲国家を目指した政府の政府の政治姿勢を探究する。	・指導事項：明治維新と富国強兵、立憲国家の成立 ・教材：教科書、ワークシート、図説、史料集、問題集 ・一人1台端末の活用 等	左記の観点について非常に高度な状況に到達しているか。 左記の観点について授業者が概ね満足できる状況に到達しているか。 左記の観点について努力を要する状況であるか。	○	○	○	19
	定期考査			○	○		1
	近代国家として成長する中で、国際的地位の向上とともに対外的発展を進めていった状況を探究する。	・指導事項：日清・日露・第一次世界大戦における日本の立場と国際体制。 ・教材：教科書、ワークシート、図説、史料集、問題集 ・一人1台端末の活用 等	左記の観点について非常に高度な状況に到達しているか。 左記の観点について授業者が概ね満足できる状況に到達しているか。 左記の観点について努力を要する状況であるか。	○	○	○	19
	定期考査			○	○		1
3 学 期	近代産業や近代文化の発達および、市民生活が変容していく中で生まれた大衆文化について探求する。	・指導事項：近代の産業と生活 ・教材：教科書、ワークシート、図説、史料集、問題集 ・一人1台端末の活用 等	左記の観点について非常に高度な状況に到達しているか。 左記の観点について授業者が概ね満足できる状況に到達しているか。 左記の観点について努力を要する状況であるか。	○	○	○	12
	日本が日中・太平洋戦争に突入していった理由を政治・社会・思想等の観点から探究する。	・指導事項：恐慌と第二次世界大戦 ・教材：教科書、ワークシート、図説、史料集、問題集 ・一人1台端末の活用 等	左記の観点について非常に高度な状況に到達しているか。 左記の観点について授業者が概ね満足できる状況に到達しているか。 左記の観点について努力を要する状況であるか。	○	○	○	6
						合計	140

国分寺 高等学校 令和7年度 教科 地理歴史 科目 日本史演習

教 科： 地理歴史 科 目： 日本史演習 単位数： 2 単位

対象学年組：第 3 学年 1 組～ 4 組

教科担当者：（ 1組～4組（2講座）：梶原 ）

使用教科書： 詳説日本史 日本史探究（山川出版社） ）

教科 地理歴史 の目標： 社会的事象の歴史的な見方・考え方を追及したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の優位な形成者に執拗な公民としての資質・能力を育成する。

【知 識 及 び 技 能】 資料から情報を適切かつ効果的に読み取り、まとめる力を身につける。

【思考力、判断力、表現力等】 歴史的事象について、多面的・多角的に考察し、問いやその答えを表現する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 見通しをもって学習に取り組もうとし、学習を振り返りながら課題を追究するとともに、次の学習へのつながりを見いだそうとする力を養う。

科目 日本史演習 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
資料から情報を適切かつ効果的に読み取り、まとめる力を身につける。	歴史的事象について、多面的・多角的に考察し、問いやその答えを表現する力を養う。	見通しをもって学習に取り組もうとし、学習を振り返りながら課題を追究するとともに、次の学習へのつながりを見いだそうとする力を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
1 学 期	敗戦後、民主主義国家に改革されてゆく過程で、占領軍の中心的存在であったアメリカの対日政策の変化に留意しながら、戦後の再建を探究する。	・指導事項：占領と改革 ・教材：教科書、ワークシート、図説、史料集、問題集 ・一人1台端末の活用 等	左記の観点について非常に高度な状況に到達しているか。 左記の観点について授業者が概ね満足できる状況に到達しているか。 左記の観点について努力を要する状況であるか。	○	○	○	6
	冷戦構造の中での日本の国際的立場やアメリカの対日政策の変化、現在も解決していない講和問題と単独講和ということに留意しつつ探究する。	・指導事項：冷戦の開始と講和 ・教材：教科書、ワークシート、図説、史料集、問題集 ・一人1台端末の活用 等	左記の観点について非常に高度な状況に到達しているか。 左記の観点について授業者が概ね満足できる状況に到達しているか。 左記の観点について努力を要する状況であるか。	○	○	○	9
	定期考査			○	○		1
	長期間続いた55年体制について、それを支える国民階層や社会状況を踏まえつつ探究する。	・指導事項：55年体制 ・教材：教科書、ワークシート、図説、史料集、問題集 ・一人1台端末の活用 等	左記の観点について非常に高度な状況に到達しているか。 左記の観点について授業者が概ね満足できる状況に到達しているか。 左記の観点について努力を要する状況であるか。	○	○	○	9
	戦後日本が、驚異的な経済復興をとげ、高度経済成長を果たす、理由や背景を探究する。	・指導事項：経済復興から高度経済成長へ ・教材：教科書、ワークシート、図説、史料集、問題集 ・一人1台端末の活用 等	左記の観点について非常に高度な状況に到達しているか。 左記の観点について授業者が概ね満足できる状況に到達しているか。 左記の観点について努力を要する状況であるか。	○	○	○	8
	定期考査			○	○		1
2 学 期	経済大国となった日本が抱える新たな対外的課題等を探究する。	・指導事項：経済大国への道 ・教材：教科書、ワークシート、図説、史料集、問題集 ・一人1台端末の活用 等	左記の観点について非常に高度な状況に到達しているか。 左記の観点について授業者が概ね満足できる状況に到達しているか。 左記の観点について努力を要する状況であるか。	○	○	○	9
	定期考査			○	○		1
	冷戦が終結したもののバブル経済期へて、変容していく状況やその原因を探究する。	・指導事項：冷戦の終結と日本社会の変容 ・教材：教科書、ワークシート、図説、史料集、問題集 ・一人1台端末の活用 等	左記の観点について非常に高度な状況に到達しているか。 左記の観点について授業者が概ね満足できる状況に到達しているか。 左記の観点について努力を要する状況であるか。	○	○	○	9
	定期考査			○	○		1
3 学 期	前近代史を中心に大学入試問題の問題演習を行う。	・指導事項：前近代史の問題演習 ・教材：教科書、ワークシート、図説、史料集、問題集 ・一人1台端末の活用 等	・指導事項 ・教材：教科書、ワークシート、図説、史料集、問題集 ・一人1台端末の活用 等	○	○	○	9
	近現代史を中心に大学入試問題の演習を行う。	・指導事項：近現代史の問題演習 ・教材：教科書、ワークシート、図説、史料集、問題集 ・一人1台端末の活用 等	・指導事項・教材：教科書、ワークシート、図説、史料集、問題集 ・一人1台端末の活用 等	○	○	○	7
							合計 70